

# 労災ケア通信

第56号  
平成28年8月20日  
発行：一般財団法人  
労災サポートセンター  
〒102-0073  
東京都千代田区九段北4-1-3  
飛栄九段北ビル10F  
TEL 03-6834-2510(代表)  
FAX 03-6834-2530  
ホームページアドレス  
<http://www.rousaisc.or.jp>



## 介護サービスの質の

## 改善と向上を目指

### 「第五回介護研究発表会」を開催

介護サービスの改善と向上を目指すことを目的として「第五回介護研究発表会」を7月5日に東京のメヂカルフレンドビルで開催し、翌6日には本部会議室でグループワークを行いました。

参加者からの寄稿を紹介します。

### 「介護研究発表会に参加して」

ケアプラザ呉

作業療法士 池田尚美

専門多職種集団という特色を生かした研究をという施設の方針で、今回は作業療法士と介護福祉士のペアで介護研究に取り組むことになりました。

テーマとした「頭部外傷に伴う高次



研究結果を発表する池田さん

脳機能障害者の活動範囲を広げる取組み」は、入居者の安全を第一に考えれば多少の行動制限は仕方ないとする固定概念への小さな「？」がきっかけでした。取組みを始めてみると、介護課だ

けでは解決できない課題であることが分かり、施設ぐるみで協力してもらったことで、何とか7月5日の発表に漕ぎつけることができました。  
療法士の参加は初めてとのことですが不安もありましたが、温かい声援や確かな批評をいただき、大変貴重で有意義な経験をさせていただいたと感謝の気持ちで一杯です。

### 「介護研究発表会に参加して」

ケアプラザ宇土

介護福祉士 田中健二朗  
介護福祉士 浦野 瑞貴

7月5、6日に東京で行われた介護研究発表会に参加させて頂きました。各施設からの発表には、入居者の生活の質を高め、ひいては入居生活の満足度アップにつながる取り組みが多く見受けられ、改めて色々な事を学ぶ機会となりました。

2日目は「介護実践の過程における自施設の課題と自己の役割を明確にする」をテーマに、グループワークを行い、各施設での問題点やそれに対する様々な工夫・対策を共有出来た事は大変貴重な時間だったと思います。特に、栄養士や療法士など他職種との連携が今まで以上に必要になることを改めて認識させられました。

各施設ごとも共通した問題点や課題があり、他施設の職員の方と意見交換



研究結果を発表する浦野さん

できたことは、とても貴重な時間だったと思います。

最後に、今回の熊本震災では、皆様方からお見舞いや数々の支援物資、たくさんのお言葉頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。



会長を囲んで記念撮影

安全と安心の介護を目指して

『消防訓練(防災講話)』

ケアプラザ宇土

総務課 吉田 珠美

去る3月9日(水)、地元の宇城消防署職員による消防訓練(防災講話)が開催されました。

内容は「施設における震災・防災対策」であり、最初に東日本大震災のDVDの放映、次に講話となりました。震災発生時での対応方法等について充実した説明があり、参加した入居者の皆さまは講話を真剣に聞き入り、しっかり理解されたと思います。



防災講話を真剣に聞く入居者の皆さん

なお、先日の熊本地震の発生時には、参加された入居者の皆さまには消防訓練(防災講話)が十分に生かされ、行動や心構えについて大いに役立つたと思います。

『ノロウイルス感染症予防対策研修』

ケアプラザ岩見沢

介護課 田中 清一

平成28年6月29日、ヤクハン製菓(株)の講師によるノロウイルス感染症



演習中の様子



予防対策の研修会が行われました。講義後、演習をしている中で、職員からの助言で気がつかなかった点がわかり、有意義な時間を過ごすことができました。

演習することで、より知識を深めることができました。今後に生かしていきたいと思えます。

『食中毒予防の公開研修会を実施』

ケアプラザ呉

感染対策委員長

細菌が原因となる食中毒は気温や湿度が高くなる夏場に特に多いことから、感染対策委員会でも食中毒予防に関する職員研修を公開で実施しました。

研修会には地元自治会や近くの特別養護老人ホームからも数名の参加があり、講師をお願いした中国労災病院感染対策室の柴田美加先生からは、ヒトの手からの汚染が一番こわい。必ず30秒以上はしっかり手洗いをすることなど、スライドを使って予防のポイントや留意点を分かりやすく解説していただきました。

前々日、県内に今年初めての「食中毒警報」が発令されたこともあり、参加者は講師の話に真剣に聞き入っていました。



解説される講師の柴田さん

ケアプラザだより

『夏のミニ旅行』

ケアプラザ富谷 総務課

6月29日、梅雨の合間の晴れ間に、ミニ旅行でうみの杜水族館と仙台青葉城址に行ってきました。

水族館では、臨場感たっぷりのイルカのショーに拍手を送り、水槽を回って海の生物を見学、売店では各自おみやげを購入、オープンから1周年の新しい水族館を大いに満喫しました。

伊達正宗騎馬像前にて記念撮影



うみの杜水族館前にて記念撮影

次の青葉城址では、伊達政宗公騎馬像前で伊達武将隊の武将と一緒に「ずんだもち」の掛け声で記念撮影。その後、眼下に広がる仙台市内から太平洋の眺望を楽しみ、政宗公に思いを馳せ、帰路に着きました。

『ふれあいデー』

ケアプラザ宇土

介護課 山口和代



入居者の皆さんで賑わう会場

去る3月16日(水)の「ふれあいデー」は平成27年度として最後の開催となりました。好評な抹茶に加え、最終回限定で提供されるケーキや和菓子の人気もあり、大変多くの入居者の方々が参加されました。午後2時の開店前から入口には行列ができる状態で、来場が途絶えることが無いほどの大盛況となりました。入居者の皆さまは懐かしい話で盛り上がり、充実した素晴らしいひとときを過ごすことが出来たと思います。

『カラオケ茶話会』

ケアプラザ富谷 総務課



カラオケを楽しむ入居者の皆さん

爽やかな初夏の6月8日、ケアプラザ富谷でコーヒーを飲みながらカラオケを楽しむ会が催されました。飛び入り参加型の会だったためか、トップバッターは入居者の皆さん遠慮がちで、なかなか手が挙がらず、結城施設長の歌声でスタートしました。その後は入居者さんより次々に

手が挙がり、あっという間の1時間、最後は西川介護課長の締め歌もあり、楽しい午後の一時を過ごしました。入居2年目で初めて唄った入居者さんから、「唄えて良かったよ」とい

う感想を述べていただき、開催した私達も達成感がありました。

また、カラオケ会場協では、牛乳宅配業者による骨密度測定会も同時に実施され、入居者さん及び職員も自分の骨密度を確認することができました。



牛乳業者さんによる骨密度測定会

『淡水魚水族館へ行って』

ケアプラザ瀬戸

介護課 中津山 一

6月15日(水)に特別行事として「アワトト・岐阜」という淡水魚のみの水族館へ、普段外出することが難しい方や、水族館を強く希望していた方などと一緒に行ってきました。中は予想以上に大きくて、皆さんの喜ぶ顔や淡水魚のあまりの大きさに驚いている方

など、各々がとても楽しそうにしている雰囲気も印象的でした。  
 昼食時はそれぞれに食べたいものに合わせて店に入ったり、飛騨牛の串焼きに舌鼓を打つたりと、普段とは違う有意義な時間を過ごす事が出来ました。



水族館前で記念撮影する参加者の皆さん

『節分会』

ケアプラザ宇土

総務課 前田 知忠

去る2月3日、恒例となった節分会(及び焼き芋)を行いました。午後2時の開催に合わせて、芋が甘くなるように午前11時頃から焼き芋の準備を行い

ました。丁寧に準備した焼き芋は食べる頃には大変甘くなり、参加した入居者の皆さまは美味しさに笑顔が絶えることがないほどでした。  
 また、豆まきには介護課職員が鬼に扮して登場し、皆を盛り上げ、本当に楽しい時間を過ごすことが出来たと思います。



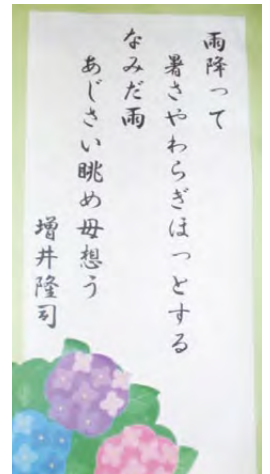
鬼に扮装した職員と入居者さん

『川柳教室』

ケアプラザ堺

介護課 佐野 倫康

昨年度に講師を招いて開催した「川柳」の講習会が、参加された入居者の皆様に大御好評だったことから、今年度も開催することとなりました。  
 今回のお題は「雨」。職員も参加し、



増井さんの作品

入居者の方々と一緒に頭をひねり、渾身の一句を作り上げていました。中でも入居者の増井さんの一句は、「紫陽花」に亡き母を想い涙が出そうという心情を詠んだ素晴らしい内容でした。  
 「人の姿」を詠むのが川柳。今後も文化的交流の一環として、川柳を楽しく盛り上げていきたいと思えます。

『七夕』

ケアプラザ堺

介護課 山下 光香

今年も恒例の七夕の笹が飾られました。  
 入居者の皆さんと職員で心をこめて折り紙で作製した笹飾りが笹を彩ります。  
 「毎日、車椅子に乗れますように」「カレーの時はごはんもルーも大盛りに、絶対!」「コーヒーがたくさん飲めますように」「婚活」・・・  
 そよかぜに揺れる短冊に皆様の願いが届きますように!

『みんなの体操』

ケアプラザ新居浜

愛媛施設では、「みんなの体操」を平成27年11月から毎日午前11時に入居者さんと介護職員が行っています。  
 先日の介護研究発表会でもその様子を発表しましたが、時間は5分で簡単



七夕飾りの下で集う入居者さん



体操する入居者さんと介護職員

な体操です。最初は8人くらいの参加でしたが、現在では15人ほどが集まります。入居者さんの「始めますー」の号令で体操が始まり、「ありがとうございましたー」のあいさつで和気あいあいと終わります。

最近では午後3時の生放送の「みんなの体操」を自主的に行う姿も見られ、その効果に驚いています。

### 『海自カレー』

ケアプラザ呉

管理栄養士 西村千恵

ケアプラザ呉では、隔週木曜日にカレーライスを提供しています。入居者の皆さんの楽しみを追求すべく、5月12日(木)の昼食は「海自カレー」を提供しました。呉市に基地がある海上自衛隊では多くの部隊で毎週金曜日の昼食にカレーが食べられており、その理由は、長く航海している隊員が曜日感覚を忘れないようにするためだとか。

施設で通常提供しているカレーは牛肉か鶏肉を使用していますが、今回の海自カレーは自衛隊呉病院で提供されているレシピを参考にし、牛すじ肉を使用しました。厨房スタッフが試行錯誤し、今回は甘味の中にも深いコクのある普段とは一味ちがった美味しいカレーが出来上がりました。

どうすれば食事を通じて入居者の皆さんに楽しみを提供できるのか、日々

悩みは尽きませんが、これからも厨房スタッフと心を合わせて努力して参ります。



海自カレーのポスター

### 『小学校との交流会』

ケアプラザ呉 総務課

四回目となる呉市立昭和中央小学校との交流事業を、今年も時期を早めて、去る6月22日と29日に行いました。

先ず、22日には出前授業として、ケアプラザから9名の職員が小学校に出向き、4年生の児童84名にシート交換や車椅子の使用方法、介護用リフトを体験してもらいました。その中で、最も興味を持ってもらったのがリフト体験で、予定時間をオーバーするくらいの人気でした。

それから一週間後の29日、今度は出前授業に参加してくれた児童がケアプラザを訪れ、手造りの衣装で元気に「ソーラン節」などを披露してくれました。当日は警報が発令されてもおおらかな

いくらいの大雨でしたが、最後に入居者と一緒に「海」や「ふるさと」を合唱する頃には雨も小止みになり、さすがの梅雨空も子供たちのパワーには敵わなかったようです。



出前授業を受ける小学校の皆さん



交流会の様子

### 『車いす清掃修理ボランティア』

ケアプラザ新居浜

7月20日、新居浜工業高校VYS部の部員7名と顧問の先生2名が当施設を訪れ、車いすの清掃・修理を行ってくれました。

同高VYS部は10数年前から使えなくなった車いすを修理して東南アジアの国々に寄贈する活動「空飛ぶ車いすボランティア」を行っていて、ケアプラザ新居浜では使えなくなった車いすを提供してきました。当日は大変暑い日でしたが、部員たちは慣れた手つきで車いすを分解し、痛んだ部品を直したり取り換えたりして新品同様に蘇らせました。すっかりきれいになって戻ってきた車いすを見て入居者さんたちは大喜びでした。



車いすの清掃修理を行うボランティアの皆さん

### 入居者だより

#### 『一年を振り返って』

ケアプラザ岩見沢

入居者 藤澤章

私は昨年の7月に入居して、早一年になります。

それまでは長い間、在宅介護を受けながら自宅で生活していましたが、シヨートステイを体験して入居することになりました。

納涼祭に始まり、ゲーム大会、焼肉等、楽しい催しが毎月のように行われ、充実した日々を過ごしています。



妹さんと参加した納涼祭の一枚

それも職員の方々をはじめ、介護スタッフの皆様の思いやりと気配り、優しさに満ちた笑顔に励まされていることをとても感謝しています。  
これからも宜しくお願いいたします。

#### 『歌のふれあい』

ケアプラザ四街道

入居者 丸山博

6月29日(水) 例年通り歌謡ショーが開催されました。

ご当地出身のプロ歌手と私共入居者8名が得意の持ち歌を唄い、歌手とアベックで昔懐かしいあの歌、この歌を歌い閉会しました。職員の皆様、ご近所の皆様ありがとうございました。

日頃(定期的に施設へカラオケをに来てくれます)来所の時は、マイクを持ってない方の移動等の手伝いを



プロ歌手と熱唱する入居者さん

#### 実習生だより

して頂いています。入居者も上手く歌えるようになりました。ありがとうございました。来年も宜しくお願いいたします。  
人と人とのふれあい、歌のふれあい・・・イイですね。

#### 『介護実習を終えて』

栗山町立北海道介護福祉学校

実習生 黒島 由美子

佐藤 かおり

この度、重度障害者の施設で29日間の実習をさせて頂きました。

入居者の方それぞれに色々な背景で障害を負い、生活している場に入らせて頂き、様々な福祉用具や手作りの自具、その方に合わせた褥瘡を予防するクッション等の活用があり、職員の

方々の入居者に対する優しさを感じました。

また、特有の障害でありながらも、支援の方法は様々であることと、本人が納得される支援が大切であることを学ばせて頂きました。

ご多忙の中、職員の皆様、入居者の皆様、ご指導頂き本当に有難うございました。



入居者の皆さんと記念撮影

### 『第12回労災重度被災者作品展の開催』

日時 平成28年10月19日(水)から21日(木)

会場 みやぎ産業交流センター(夢メッセみやぎ) 本館 会議棟大ホール

※ご来場をお待ちしております。